

青少年育成推進員連絡協議会

活動紹介

青少年育成推進員とは、

全ての青少年が、健康でたくましく、心豊かに成長してほしいという県民の願いを込めて、昭和40年に「群馬県青少年育成補導推進員」が誕生し、平成17年より名称を「**群馬県青少年育成推進員**」として、現在、県内で**約3,000名**の方が、地域における**青少年の健全育成、非行防止活動を推進**しています。

渋川市では、各自治会から推薦された**138名**の方に**群馬県知事**並びに**渋川市長**が委嘱し、青少年育成推進員として様々な活動を行っています。

活動は、健全育成・環境浄化・非行防止を活動の柱とし、連絡協議会で行う活動のほか、9つの地区協議会でも独自で活動を行っています。活動する際は、アポロキャップと名札を身に付けています。

渋川市青少年育成推進員連絡協議会組織図



群馬県青少年
育成推進員

アポロキャップと名札

青少年健全育成キャンペーン

この取組は、青少年育成推進員が市内の中学校・高等学校へ訪問し、啓発活動を通じて生徒に青少年の健全育成と非行防止を呼びかけることを目的に実施しています。

令和7年度は7月上旬に市内中学校9校、高等学校4校を訪問し、**3,183人**の生徒に対し、インターネットの安全安心な利用方法についてのリーフレットを配布しながら、呼びかけました。

今年も各学校の生徒に協力していただきながら活動を行いました。



渋川中学校



渋川北中学校



金島中学校



古巻中学校



伊香保中学校



子持中学校



赤城南中学校



赤城北中学校



北橋中学校



渋川高校



渋川工業高校



渋川女子高校



渋川青翠高校

まちなみスッキリ運動



通学路を中心に子どもたちに悪影響を与えそうな「はり紙」や「立て看板」など違反広告物の確認を実施するとともに、安全・安心に登下校できるよう清掃や危険箇所の点検を併せて実施し、快適なまちづくりを推進しています。



三季運動（おぜのかみさま推進運動）

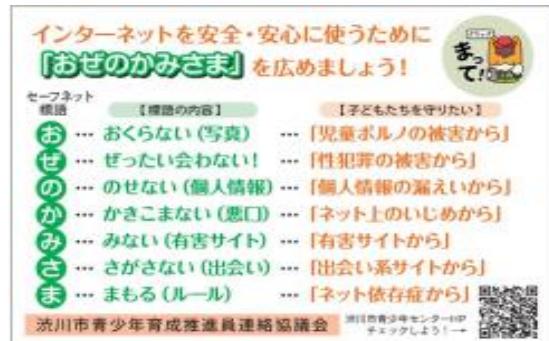


群馬県では、青少年の健全育成と非行防止を図るため、青少年健全育成運動期間として定めています。

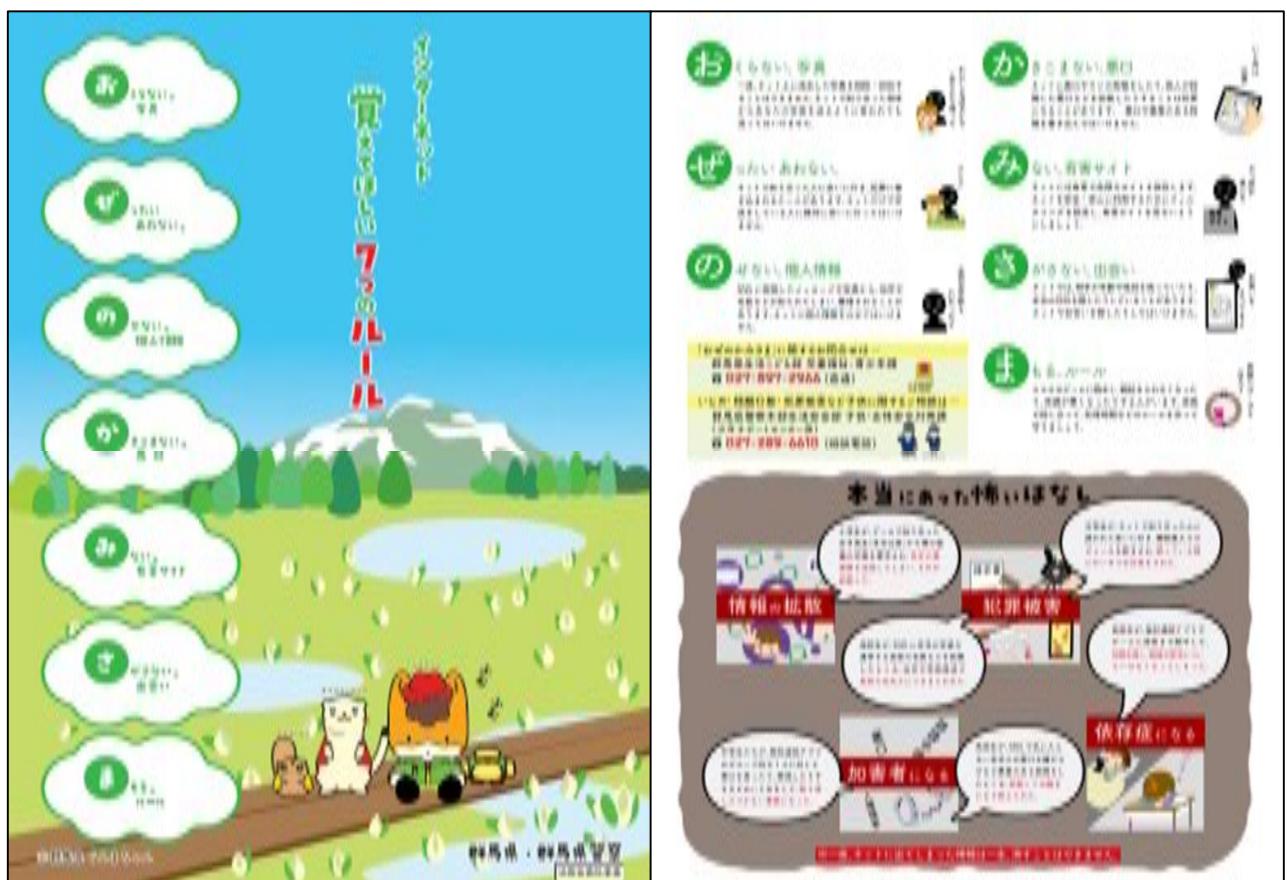
- ・夏（7月15日～8月31日）
- ・冬（12月15日～1月31日）
- ・春（3月15日～4月30日）

渋川北地区・渋川地区・金島地区・古巻地区の推進員は、夏の期間に大型店舗の店頭において、来店した保護者や子どもを中心にリーフレットや啓発用ティッシュなどを配布し、青少年の健全育成啓発活動を展開しています。

また、子どもたちをインターネット上のいじめ、SNSサイトを利用した性的被害やネット依存症等から守るために、セーフネット標語「おぜのかみさま」による啓発活動も県民運動として、積極的に啓発を推進しています。



啓発用ティッシュデザイン



リーフレット

非行防止活動

防犯パトロール



青少年の非行防止活動として、防犯パトロールを実施しています。

地区によって活動内容は異なりますが、子どもの夏休み期間の7月・8月中に、夜7時から9時の間に行います。

パトロール場所は、公園や駅等の青少年が利用しやすい箇所を重点においています。

また、「伊香保まつり」「宮田ほたるまつり」「たちばな古里まつり」など各地区のお祭りにおいても青少年の行動を見守っています。



「伊香保まつり」



「宮田ほたるまつり」



「たちばな古里まつり」

環境美化活動

各地区で**地域住民の交流、地域の活性化、犯罪防止や景観・環境の改善**を目的として実施しております、現在、**子持地区・北橋地区・古巻地区**の3地区で地域の美化を推進しています。

子持地区



← スクールサポートボランティア

子持中学校生徒・保護者による奉仕活動日に合わせて、中学校周辺の除草を行っています。

北橋地区



推進員がプランターに花を植え、公民館周辺の景観整備を行い、非行防止に努めています。



環境美化活動

通学路の点検



小野上地区では、小野上小学校が夏休み中に行う「学校環境整備奉仕作業」にPTAの皆さんと共に青少年育成推進員も参加をしています。

保護者の方々と小野子・村上方面に分かれ、通学路等の除草・清掃・樹木の伐採作業等を行い、子どもたちが「安心・安全」に通学出来るよう、**通学路の点検**を実施しています。



子どもたちが安全に通学出来るように、通学路の除草作業を行っています。

古代米づくり体験教室



古巻地区では青少年の健全育成の一環として、また古代米の栽培を通じて古代の歴史や文化に关心を持ち、お米のありがたさを感じてもらおうと「古代米づくり体験教室実行委員会」各団体で協力して「古代米づくり体験教室」を実施しています。

令和4年度からは古巻地区だけではなく、市内全域に参加者を募り大勢の家族連れが参加。赤米・黒米など5種類の古代米の田植えや稲刈りなどを体験し、収穫された古代米は参加者世帯に配布されました。

今後も貴重な文化伝承体験の場を提供していこうと考えています。

こども安全協力の家



「こども安全協力の家」とは、**子どもたちが安心かつ安全に通学できる**ように、左の黄色い看板を掲げたお店や一般家庭を、緊急時や困りごとが起きた際の避難先としてして**地域の方の協力を**いただいている。

現在、渋川市内では約**700戸**を「こども安全協力の家」として指定し、令和6年度は小学生を中心に、1年間で**668人が利用しました。**

←これが目印の黄色い看板



健全育成・啓発活動

少年の主張 渋川市大会

市内中学校の生徒を対象に、少年が日ごろの生活を通して感じていることや考えていることを発表することにより、**社会の一員としての自覚を高めるとともに、少年に対する市民の理解や認識を深め、青少年健全育成活動の一助**とし、併せて「少年の日」の普及を図ることを目的に、教育委員会と青少年育成推進員連絡協議会の共催で開催しています。

令和7年度は、7月3日（木）に金島ふれあいセンターで開催し、市内中学校の代表生徒14名が熱弁を振るいました。

健全育成・啓発活動

少年土曜教室（絵皿教室）

市内小中学校の児童・生徒を対象に、**青少年の居場所づくりと、地域の人と子どもたちがふれあいを深めること**を目的に、青少年育成推進員連絡協議会と青少年センターの共催で夏休みが始まる7月に開催していました。自分で描いた絵や文字がお皿に印刷され、オリジナルのお皿が作れることもあります。大変人気のある教室です。

令和6年度は、7月20日（土）に金島ふれあいセンターで3部制で開催し総勢264人の児童・生徒が絵皿として完成させました。



その他の活動

研修会

青少年育成推進員の資質向上を図るため、毎年研修会を開催しています。

令和6年度は、市青少年育成推進員連絡協議会・青少年センター補導員会の合同研修として開催しました。

- ・講師 群馬県警察サイバーセンター センター長補佐 飯塚 澄子様
- ・演題「ヤングケアラーの理解と支援についてインターネット利用の課題と対策
～少年犯罪の実態と心理を知り、未然防止を考える～」

青少年育成推進員連絡協議会では、今後も育成者としての資質向上を図るとともに、地域の健全育成活動に役立てるよう活動に取り組みます。

